

新潟大学皮膚科特別セミナー

日時：2026年7月15日（水）18：00～

＊Zoomにて開催します。

皮膚疾患における慢性炎症と 治療抵抗性のメカニズム

- 組織微小環境から見た新たな理解

東北大学ヘルススパン研究センター

皮膚老化抑制研究分野 准教授

東北大学病院皮膚科 講師

高橋 岳浩先生

近年、生物学的製剤やJAK阻害薬の登場により皮膚疾患の治療は大きく進歩した一方で、再燃や治療抵抗性は依然として重要な課題である。近年のsingle-cell RNA sequencingなどの発展により、慢性炎症の持続や治療反応性を規定する組織微小環境の役割が明らかになりつつある。本講演では円形脱毛症における毛包ニッチ老化と免疫リモデリングによるJAK阻害薬抵抗性の機構、ならびにアトピー性皮膚炎における上皮-間質-免疫連関を介した慢性炎症維持機構に関する最近の研究成果を紹介する。疾患を超えて共通する慢性炎症と治療抵抗性の分子基盤について議論し、新たな治療戦略への展望を考察する。

1. T. Takahashi, M. K. Ellingson, P. Wong, B. Israelow, C. Lucas, J. Klein, et al. Sex differences in immune responses that underlie COVID-19 disease outcomes, *Nature*, 2020, 588, 315-320.

2. T. Takahashi. Dermal fibroblast subsets and their roles in inflammatory and autoimmune skin diseases, *J Dermatol Sci*, 2025, 120, 45-51.